2026 年 11 月 11 日

各　位

会社名　株式会社 CINC
代表者名　代表取締役社長　石松 友典
（コード番号：東証グロース　4378）
問合せ先　経営管理本部本部長 岡崎 俊亮
（TEL：03-6822-3601）

AI 検索対策ツール「AIsearchmap（AI サーチマップ）」、自社・競合が「どの領域で紹介されているか」を可視化する新機能「領域別分析」をリリース

当社は、AI 検索対策ツール「AIsearchmap（AI サーチマップ）」において、新機能「領域別分析」を 2026 年 11 月 11 日より全プランで提供開始することをお知らせいたします。

詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

以　上

AI 検索対策ツール「AIsearchmap（AI サーチマップ）」、自社・競合が「どの領域で紹介されているか」を可視化する新機能「領域別分析」をリリース
～CINC コンサルタントの分析手法を基に、自社・競合の言及傾向を四つの切り口で比較。ブランド訴求の見直しを支援～

株式会社 CINC（以下、CINC）は、AI 検索対策ツール「AIsearchmap（AI サーチマップ）」において、新機能「領域別分析」を 2026 年 11 月 11 日より全プランで提供開始します。

本機能は、AI 検索の回答における自社・競合ブランドの言及状況を、「サービスカテゴリ」「比較観点」「ターゲット」「エリア」の四つの切り口＝軸で可視化するものです。CINC のコンサルタントの分析手法を基にしたロジックにより、軸を基準にして AI が自社をどのように、またどれくらい紹介しているのかチェックできるようになります。

ブランド全体で「どれだけ言及されているか」に加え、「どの領域で自社が想起されているか」を把握することで、企業が目指すブランドの位置づけと AI 検索上の言及傾向の違いを捉え、情報発信の精度向上やブランド訴求の見直しを支援します。



領域別分析とは？

「領域別分析」は、設定した分析軸を基に、AI 回答におけるブランドの言及状況を領域ごとに集計・比較する機能です。

例えば、車に関して「価格の手頃さで選びたい」という質問と「安全性能の高さで選びたい」という質問では、言及されるブランドの傾向が異なる場合があります。本機能では、こうした質問に「価格が手頃」「安全性能が高い」といった分析軸を付与して、自社と競合の言及状況をグラフや数値で確認できます。



自社サービスがどのような特徴を持っており、どんなニーズに応えるブランドとして AI が紹介しているのか、「わかりやすい軸」としてチェックすることが可能になり、どの軸の言及率が高いのかといった調査や、それぞれの軸を競合と比較して分析することができるようになります。

開発背景：言及されていることと、意図した領域で想起されることは違う

AI 検索対策では、自社が回答に登場しているかに加え、どのような質問に対する候補として紹介されているかを確認することが重要です。

自動車ブランドが「価格の手頃さ」と「安全性能」の両面で認知を広げたいと考えていても、AI 回答では「価格が手頃な車」を探す質問で紹介される一方、「安全性能が高い車」を探す質問では紹介されない、といった違いが考えられます。

こうした違いは、ブランド全体の言及数や言及率だけでは捉えきれません。また、個々の回答を確認する方法では、質問を領域ごとに整理し、自社・競合の傾向を比較するための集計や分析が必要になります。

そこで CINC は、コンサルタントが用いる分析手法を基に、ブランドの言及状況を領域ごとに可視化する機能を AIsearchmap に実装しました。企業が目指すブランドの位置づけと AI 回答に表れる傾向を照らし合わせ、改善を検討しやすい環境を提供します。

領域別分析の機能説明

1. CINC コンサルタントの分析手法を基にしたロジックを実装

言及の総量に加え、サービスのカテゴリや特徴・強みといった観点などに分けてブランドを分析する、CINC コンサルタントの手法を機能に反映しています。

担当者は、共通の分析軸に沿って自社と競合を比較することで、ブランドが言及されやすい領域や、競合との差がある領域を確認できます。分析の切り口をそろえ、継続的な状況把握に活用できます。

2. 四つの切り口＝軸で自社・競合の言及傾向を可視化

プロンプトに設定された情報を基に、以下の切り口で分析します。

サービスカテゴリ：軽自動車、SUV、ミニバンなど、どのカテゴリの質問で言及されているか。

比較観点：価格、燃費、安全性能など、どの特徴や価値を重視する質問で言及されているか。

ターゲット：子育て世帯、通勤に車を使う人など、どの想定顧客に向けた質問で言及されているか。

エリア：東京都、大阪府など、どの地域で車の購入を検討する質問で言及されているか。



結果は、ダッシュボード上のレーダーチャート・棒グラフ・数値表で確認できます。自社・競合の傾向を視覚的に捉えながら、各項目の言及率を比較できます。

3. プロンプトジェネレーターによる分析軸の自動付与

AIsearchmap に搭載されている AI への質問を自動で生成する機能『プロンプトジェネレーター』を用いて、分析軸を選びながら質問を作成すると、対応する分析軸がプロンプトに自動付与されます。「領域別分析」は、その情報を使って AI 回答を集計します。

質問の作成から領域別の可視化までをつなぐことで、担当者による分類・集計の作業を効率化し、分析結果の確認に進みやすくします。

活用イメージ

例えば、自動車ブランドが「価格の手頃さ」に加えて「安全性能」でも認知を広げたい場合、それぞれの観点を重視する質問で、自社と競合がどの程度言及されているかを軸として比較できます。また、「子育て世帯」などのターゲット軸を設定することで、注力したい顧客層に向けた質問での言及傾向も確認できます。

こうした結果を、自社が伝えたい強みや届けたいターゲットと照らし合わせることで、AI 検索上での実態（紹介のされ方）との違いを把握できます。その違いを基に、安全性能を伝える情報を充実させたり、子育て世帯に向けた発信テーマを見直したりするなど、情報発信やブランド訴求の方向性を検討できます。

機能を使う価値・ベネフィット・メリット

目指すブランドイメージとの違いを把握できる

「自社は何のブランドとして知られたいか」と「AI 検索ではどの領域で言及されているか」を照らし合わせられます。全体の言及状況だけでは気付きにくい、ブランドの伝わり方の違いを見つける材料になります。

競合との位置づけの違いを捉えられる

全体の言及率では競い合っているブランドでも、言及されるカテゴリや比較観点が異なる場合があります。領域別に比較することで、自社が相対的に言及されやすい領域と、競合が言及されやすい領域を把握できます。

データを基に情報発信の方向性を検討できる

既に言及されている領域を強化するのか、まだ言及につながっていない領域でブランドの理解を広げる

のか。分析結果を事業方針やブランド戦略と照らし合わせ、情報発信や訴求の優先順位を検討できます。

AIsearchmap（AI サーチマップ）とは

AIsearchmap は、AI 検索で自社や競合がどのように紹介されているかを定期的に計測・可視化する、国産の AI 検索対策ツールです。ブランドの言及状況や引用元サイト、回答内容を確認でき、CINC のコンサルティングで培った知見を基に、計測する質問の作成から競合比較、領域別の分析までを支援します。

自社の強みと AI 回答の間にある違いを把握し、情報発信やブランド訴求の改善検討に活用できます。また、施策の立案・実行から改善までを一括して依頼できる「AIsearchmapBPO」も提供。社内の知識やリソースが不足している企業でも、分析結果を具体的な施策につなげ、継続的に AI 検索対策を進められるよう支援します。

AIsearchmap のご利用は、以下からお申し込みください。

▶AIsearchmap のフリープランに申し込む
▶AI 検索対策の実行支援サービス『AIsearchmapBPO』に問い合わせる

サービスの詳細はこちら

AIsearchmap サービスサイト

【会社概要】
「マーケティングソリューションで、日本を代表する企業へ。」をビジョンに掲げ、ビッグデータの活用を強みとした Web マーケティングのツール開発からマーケティングコンサルティングを展開しています。独自のデータ収集技術、AI・機械学習技術と、データ解析の知見を基に、誰もが・短時間で・簡単に・高度なビッグデータ解析ができるツールの開発・提供、プロフェッショナルが戦略立案から実行支援まで一気通貫で伴走するマーケティングコンサルティングの提供を通じて、クライアントのビジネスの成長に貢献します。

会社名：株式会社 CINC（シンク）（東証グロース 証券コード：4378）
代表者：代表取締役社長　石松友典
設立：2014 年 4 月
本社：東京都港区虎ノ門 1 丁目 21-19 東急虎ノ門ビル 6 階
事業内容：
（1）ソリューション事業

（2）アナリティクス事業

会社ホームページ：https://www.cinc-j.co.jp

SEO・GEO ツール『Keywordmap』：https://keywordmap.jp/

採用情報：https://www.cinc-j.co.jp/recruit/

運営メディア「Marketing Native」：https://marketingnative.jp/

Tech Blog：https://cincdevteam.hatenablog.com/